

2023 年度（第 16 回）明治大学教育会総会・研究大会講演会

テーマ：

生徒・学生の「死にたい」気持ちに、私たちは何を感じ、どのように応えればよいのだろうか～教育現場における自殺予防の基礎知識～

講師：

川島 義高（かわしま よしたか）

明治大学 文学部 心理社会学科 臨床心理学専攻 専任准教授

【概要】

学校の教職員、大学を含めた教育機関の関係者にとって、生徒・学生から「死にたい」という気持ちを向けられることや「もしかすると危ないかもしれない…」と思う経験をするとは少なくないように思います。経験豊富な教職員であっても、「自分のかかわり方に自信がもてない」「他によい方法があったかもしれない」と悩むこともあると思います。「死にたい」気持ちへの対応とは、その都度毎回考えあぐねるものだと思います。

自殺とは、人の命を奪う悲劇であり、それは家族や友人の人生、あるいはその人が所属するコミュニティに対して強烈な影響を及ぼし、後々までさざ波のようにその衝撃が続くものです。そしてこの自殺とは、教育関係者だけでなく、地域社会生活を営む全ての人において経験する可能性のあることです。日本の自殺統計に目を向けると、日本の自殺率はG7（フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ）の中でトップに位置づけられ、さらにこのG7において、若い世代の死因の第1位が自殺となっているのは日本だけです。また、2022年の小中高生の自殺者数は500人を超え、過去最悪の状況となっています。

本講演会では、自殺とは何かから始め、自殺予防の基礎知識や心構えを紹介しながら、教育現場での実践について考えていきたいと思います。生徒・学生の「死にたい」気持ちに対して、私たち教育関係者は何を感じ、どのような対応をしてきたのか、そして今後どのように向き合う必要があるのかを今一度立ち止まって考える機会にできればと思っています。

以上